

すす払い

掃除で一年間の厄を取り払い
と同時に過去を振り返って反省し、
次に生かそう

沖田中だより

北九州市立沖田中学校
校長室通信
第8号
校長 安部朋恵

冬休み直前となりました。師走は何かと気ぜわしく、慌ただしい一ヶ月です。そんな忙しい日々でも、おそろかにしてはいけないのが「煤払い」です。「すす払い」は、寺社で行われてきた、一年のすすやほこりを払い取り除いて場を清め、新しい年を迎える準備のための行事です。

掃除で厄(わざわい よくないこと)を取り除くという考え方は、私たちの間にも浸透しています。「過去のよくないことを取り除く」という考えと共に、「過去を振り返って反省し、次に生かす」という考えも大切です。マハトマ・ガンジーが残した『過ちを告白することは掃除に似ている。ほうきでほこりを払ったあとは、すっきりときれいになり晴れやかな気分になる。告白することは、より強くなることなのだ。』という言葉があります。自分の失敗したことを振り返ると、ときには胸が痛むこともあります。それでも、言い訳したり、他人のせいにしたりせず、自分のこととして考えてほしいです。

沖田中学校では、来週22日(月)に大掃除を行います。気持ちよく新年を迎えるために、日頃の掃除ではできない箇所をきれいにする作業をしながらこれまでの生活を振り返る時間にしましょう。よくできたことや頑張った成功したことは次への自信にして、うまくいかなかったことや失敗したことは次への用心にして、新年を迎えてほしいものです。



保護者の皆様・生徒の皆さんへ

校区の小学生と考えました

先月の沖田中だよりで中学校区ミーティングのことをお知らせしました。ネットトラブルから自分を・仲間を守るためのルールを考えるために、ネットを利用してこれまでに怖かった経験はないかと学級内で意見を交流したところ、ゲーム中にウソの課金の広告が出てきた、知らない人とゲームをしていてひどいことを言われた、SNSで悪口を書かれた、見ず知らずの人から電話がかかってきた…など、小学生でも怖い思いや嫌な思いをしているケースがたくさんあることが分かりました。

中学生・小学生の体験を基に生徒会執行部がまとめた“ネットトラブルから自分を・仲間を守るための5カ条”は右のとおりです。中学生の皆さんの多くが、冬休み中は普段よりネットを利用する時間が増えると思います。インターネットは正しく利用すれば便利なシステムですが、使い方を誤ると自分や家族に危険が及ぶこともあります。注意しましょう。

北九州市立沖田中学校区

“ネットトラブルから自分を・仲間を守るための5カ条”

- 知らないサイトは「開かない」「登録しない」「無視をする」
- 個人情報を「載せない」「見せない」「教えない」
- 困った時は必ず大人に相談
- 家庭でルールを決める
- 知らない人と繋がらない・関わらない

門松づくりを明日午後から行います

すす払いは新年を迎える準備のひとつですが、他に門松を据える、しめ飾りを飾るなどといった支度も行います。沖田中学校では明日20日(土)に地域の皆さん・PTAの皆さんが中心となって門松を製作します。

生徒ボランティアを募集したところ、15名を超える1年生・2年生が参加することになりました。立派な門松が出来上がることを楽しみにしています。

